

中途退学者の原因分析に対するR7年度の学科の対応策（R7年7月教授会に報告）				学科のR7年度対応策に対する 実施状況及びその結果	令和8年度の対応策 （前年度結果及びR7年度の退学者状況を踏まえて）
退学事由			R7年度の対応策等		
ア. 修学意欲の低下		【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科・学科会議での情報共有等で、指導教員と科目担当者・学科の他教員が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。	【児教】 令和7年度の退学者は、1年生4名、2年生1名の計5名であった。指導教員を中心に面談を実施し、必要に応じて保健室との連携を図るとともに、キャリアガイダンス等を通して職業理解の促進や学習への動機付けに努めた。また、学生の状況について学科内で情報共有を行い、継続的な支援を実施した。しかしながら、学生本人の進路変更や学習意欲の回復には至らず、退学となった。今後は、学生の状況把握に努めるとともに、学科全体による組織的・継続的な支援体制の強化が課題である。 【福祉】 指導教員を中心に、保健室や何でも相談室の利用など行い、学生個々の状況に応じた対応（時に保証人も含めた面談も実施）を継続して実施した。結果、2名の学生が退学に至った。 【食栄】 令和7年度該当者なし 【教養】 令和7年度該当者なし	【共通】 ・指導教員を中心に、関係部署と連携しながら適切な支援を行う。 【児教】 ・学科会議等を通して学生の状況把握に努め、学科全体で学生支援の充実を図る。 ・指導教員による面談や声掛けを通して学生の状況把握に努め、必要に応じて関係部署と連携しながら支援を行う。 ・実習やキャリアガイダンスを通して教育・保育職への理解を深め、学習意欲の維持・向上を図る。 【福祉】 就学意欲が維持できるように、指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続するとともに、保健室やなんでも相談室などとも連携を図る。 【食栄】 なし 【教養】 なし
		【福祉】	・就学意欲が維持できるように、指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。		
		【食栄】	・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるように取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習意欲向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する		
		【教養】	・学生の就学意欲が維持されるよう教員間で情報共有しつつ、指導教員を中心に相談や指導など必要な対策を講じる。		
イ. 進路変更 (進学・転学・編入)		【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。	【児教】 令和7年度に進路変更を理由として退学した学生は1名であった。指導教員による継続的な面談を実施し、学習状況や将来の進路について丁寧に相談を重ねた結果、学生本人が自らの適性や興味を見つめ直し、本来に取り組みたい分野を自覚するに至った。そのため、最終的には本人の意思を尊重し、進路変更という選択に至った。一方で、学生が学びの意義や将来の職業とのつながりを十分に理解し、本学での学修意欲を維持できるよう、キャリアガイダンスやキャリア教育研修等を通じた動機付けの充実や、学生の興味・関心を高める魅力ある授業づくりの重要性が改めて確認された。 【福祉】 令和7年度該当者なし 【食栄】 令和7年度該当者なし 【教養】 令和7年度該当者なし	【共通】 ・指導教員を中心に、学生の相談に応じながら適切な支援を行う。 【児教】 ・キャリアガイダンスや各授業を通して教育・保育職への理解を深め、学習意欲の維持・向上を図る。進路に悩む学生については、指導教員を中心に進路選択を支援する。 ・進路選択のミスマッチを防ぐため、オープンキャンパスや進学ガイダンス等を通して学科での学びや教育・保育職への理解を深める。また、入試における面談や面接を通して入学意欲や進路意識を確認する。 ・他大学への転学・編入学等を希望する学生については、進路支援課につなぎ、本人にとって望ましい進路選択ができるよう支援する。 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 なし
		【福祉】	・なし		
		【食栄】	・オープンキャンパスやガイダンス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての具体的な情報提供や、将来プラン（キャリア・アップ）を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・栄養士としてのやり甲斐や職業観を育むための場を設け、指導教員を中心に学生の進路希望などの状況把握に努め、専攻内で連携し、支援する。		
		【教養】	・教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つめられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。		
ウ. 進路変更(就職)		【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。	【児教】 令和7年度に進路変更(就職・その他)を理由として退学した学生は、1年生3名、2年生4名の計7名であり、児童教育学科の退学者総数の54%を占めている。入学時における進路選択のミスマッチに加え、入学後も将来の目標や職業観が十分に形成されず、学びの意義や価値を見いだせないまま、アルバイト先への就職を選択するなどの事例が見られた。これらの状況に対して、キャリアガイダンスやキャリア教育研修等を実施し、教育・保育職への理解促進や学習への動機付けに努めたが、進路変更による退学を十分に防ぐには至らなかった。今後も、学生が学びと将来の進路とのつながりを実感できるよう、キャリア支援の充実と魅力ある授業づくりに継続して取り組む必要がある。 【福祉】 令和7年度該当者なし 【食栄】 令和7年度該当者なし 【教養】 該当者1名。指導教員が中心となり保証人を交えながら当該学生の学習意欲を維持できるよう取り組んだが、当該学生が明確な進路変更の方向性を持っており退学した。	【共通】 ・指導教員を中心に、学生の相談に応じながら適切な支援を行う。 【児教】 ・教育・保育職の魅力や学びの意義について理解を深める機会を充実させ、学びと将来の進路とのつながりを意識できるよう支援する。 ・進路選択のミスマッチを防ぐため、オープンキャンパスや進学ガイダンス等を通して学科での学びや教育・保育職への理解を深める。また、入試における面談や面接を通して入学意欲や進路意識を確認する。 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 ・教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つめられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。
		【福祉】	・なし		
		【食栄】	・なし		
		【教養】	・教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つめられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。		

中途退学者の原因分析に対するR7年度の学科の対応策（R7年7月教授会に報告）				学科のR7年度対応策に対する 実施状況及びその結果	令和8年度の対応策 （前年度結果及びR7年度の退学者状況を踏まえて）
退学事由		R7年度の対応策等			
エ.	経済的困窮	【児教】	・学生支援課と連携し各種経済的支援制度の利用等を勧め、修学継続に繋がるよう支援する。	【児教】 該当者1名。令和5年度4名、令和6年度2名と、ここ3年は減少傾向にある。奨学金制度の利用を勧め支援をしているが、就学継続にはつながらなかった。 【福祉】令和7年度該当者なし 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】令和7年度該当者なし	【共通】 ・指導教員を中心に、学務課と連携しながら適切な支援を行う。 【児教】 ・学務課と連携し、各種経済的支援制度の活用を促し、修学の継続を支援する。 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】なし
		【福祉】	・なし		
		【食栄】	・学生支援課の協力を得て奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援する。		
		【教養】	・なし		
オ.	学力不足	【児教】	・なし	【児教】令和7年度該当者なし 【福祉】令和7年度該当者なし 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】令和7年度該当者なし	【共通】 ・指導教員を中心に学科内で対応を検討し、必要に応じて保健室や相談室と連携しながら適切な支援を行う。 【児教】なし 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】なし
		【福祉】	・なし		
		【食栄】	・なし		
		【教養】	・なし		
カ.	身体疾患	【児教】	・なし	【児教】令和7年度該当者なし 【福祉】令和7年度該当者なし 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】令和7年度該当者なし	【共通】 ・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。 【児教】なし 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】なし
		【福祉】	・なし		
		【食栄】	・なし		
		【教養】	・なし		

中途退学者の原因分析に対するR7年度の学科の対応策（R7年7月教授会に報告）				学科のR7年度対応策に対する 実施状況及びその結果		令和8年度の対応策 （前年度結果及びR7年度の退学者状況を踏まえて）
退学事由		R7年度の対応策等				
キ.	心身耗弱	【児教】	・入学前から健康上の問題を抱えている学生もいることから、引き続き保健室や保健管理委員会と連携しながら、早期発見や適切な対応が図れるよう教員間で情報を共有し対応する。また、遠隔地から進学してきた学生には、特にきめ細かい支援や声掛けを行う。	【児教】 令和6年度は1名いたが、令和7年度は該当者なし。 保健室や保健管理委員会との連携や、早期発見・早期対応といったきめ細かな対応が効果的であった。 【福祉】 指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室などを連携を図りながら支援に努めた。結果、本事由による退学者はいなかった。 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】 該当者1名。入学直後に通学できなくなり休学に至った。その後、保証人から状況を確認しつつ指導教員を中心に保健室や相談室等と連携しながら適切な支援を行ったが、当該学生の健康状態が回復せず修学意欲も低下し退学した。		【共通】 ・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。 【児教】なし 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】 ・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。
		【福祉】	・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。			
		【食栄】	・なし			
		【教養】	・なし			
ク.	海外留学	【児教】	・なし	【児教】令和7年度該当者なし 【福祉】令和7年度該当者なし 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】令和7年度該当者なし		【共通】 ・指導教員を中心に、学生の相談に応じながら適切に対応する。 【児教】なし 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】なし
		【福祉】	・なし			
		【食栄】	・なし			
		【教養】	・なし			
ケ.	その他	【児教】	・それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。	【児教】 該当者1名。本人及び保証人の気持ちを尊重しつつ、学生一人一人の事由に則して真摯にかつ丁寧に対応・支援した。 【福祉】令和7年度該当者なし 【食栄】令和7年度該当者なし 【教養】令和7年度該当者なし		【共通】 ・該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。 【児教】 ・それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。 【福祉】なし 【食栄】なし 【教養】なし
		【福祉】	・なし			
		【食栄】	・なし			
		【教養】	・該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。			

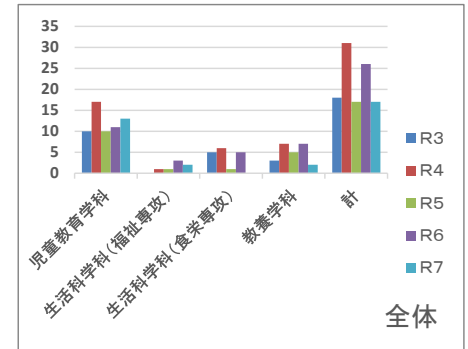
中途退学者数推移（R3～R7）

全体

		R3	R4	R5	R6	R7
児童教育学科		10	17	10	11	13
生活科学科(福祉専攻)		0	1	1	3	2
生活科学科(食栄専攻)		5	6	1	5	0
教養学科		3	7	5	7	2
計		18	31	17	26	17
5 在 月 籍 1 者 日 数	J	387	405	375	323	292
	S(福祉)	19	18	17	17	12
	S(食栄)	105	105	90	85	69
	C	152	185	165	137	110
	計	663	713	647	562	483

全体

		R3	R4	R5	R6	R7
児教		2.6%	4.2%	2.7%	3.4%	4.5%
生活(福祉専攻)		0.0%	5.6%	5.9%	17.6%	16.7%
生活(食栄専攻)		4.8%	5.7%	1.1%	5.9%	0.0%
教養		2.0%	3.8%	3.0%	5.1%	1.8%
計		2.7%	4.3%	2.6%	4.6%	3.5%

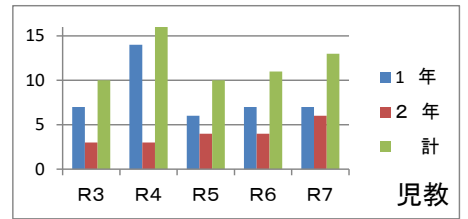


児童教育学科

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		7	14	6	7	7
2 年		3	3	4	4	6
計		10	17	10	11	13
在籍者数 (5月1日)	1年	199	210	171	156	137
	2年	188	195	204	167	155
	計	387	405	375	323	292

児童教育学科

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		3.5%	6.7%	3.5%	4.5%	5.1%
2 年		1.6%	1.5%	2.0%	2.4%	3.9%
計		2.6%	4.2%	2.7%	3.4%	4.5%

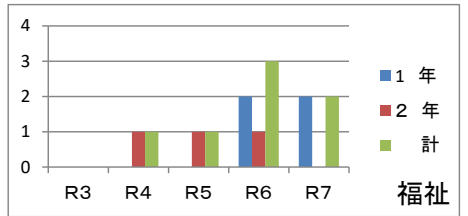


生活科学科[福祉]

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		0	0	0	2	2
2 年		0	1	1	1	0
計		0	1	1	3	2
在籍者数 (5月1日)	1年	12	6	10	6	8
	2年	7	12	7	11	4
	計	19	18	17	17	12

生活科学科[福祉]

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%
2 年		0.0%	8.3%	14.3%	9.1%	0.0%
計		0.0%	5.6%	5.9%	17.6%	16.7%

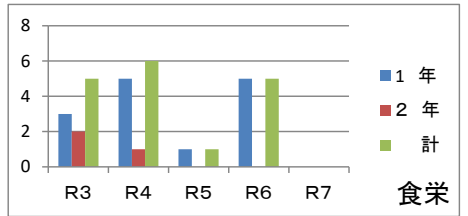


生活科学科[食栄]

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		3	5	1	5	0
2 年		2	1	0	0	0
計		5	6	1	5	0
在籍者数 (5月1日)	1年	61	47	47	39	33
	2年	44	58	43	46	36
	計	105	105	90	85	69

生活科学科[食栄]

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		4.9%	10.6%	2.1%	12.8%	0.0%
2 年		4.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
計		4.8%	5.7%	1.1%	5.9%	0.0%



教養学科

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		1	5	3	2	2
2 年		2	2	2	5	0
計		3	7	5	7	2
在籍者数 (5月1日)	1年	91	94	75	60	52
	2年	61	91	90	77	58
	計	152	185	165	137	110

教養学科

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		1.1%	5.3%	4.0%	3.3%	3.8%
2 年		3.3%	2.2%	2.2%	6.5%	0.0%
計		2.0%	3.8%	3.0%	5.1%	1.8%

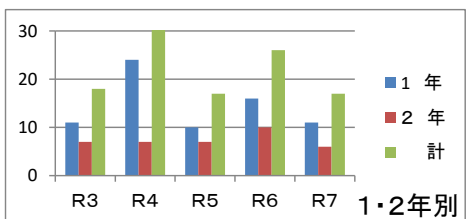


1年・2年別計

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		11	24	10	16	11
2 年		7	7	7	10	6
計		18	31	17	26	17
在籍者数 (5月1日)	1年	363	357	303	261	230
	2年	300	356	344	301	253
	計	663	713	647	562	483

1年・2年別計

		R3	R4	R5	R6	R7
1 年		3.0%	6.7%	3.3%	6.1%	4.8%
2 年		2.3%	2.0%	2.0%	3.3%	2.4%
計		2.7%	4.3%	2.6%	4.6%	3.5%



中途退学事由

全体

退学事由		R3		R4		R5		R6		R7	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	修学意欲の低下	6	2	10	1	3	2	7	2	4	1
B	進路変更(進学・転学・編入)	3	2	2		2		2	2	1	
C	進路変更(就職)		2	8	2	1	1	3	2	4	4
D	経済的困窮		1	2	1	2	4	2	1	1	
E	学力不足										
F	身体疾患				1	1					
G	心身耗弱	2		2	2			2	1	1	
H	海外留学					1					
I	その他								2		1
計		11	7	24	7	10	7	16	10	11	6

児童教育学科

退学事由		R3		R4		R5		R6		R7	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	修学意欲の低下	4		4	1	1		2	1	2	1
B	進路変更(進学・転学・編入)	1	2	1		2		1	1	1	
C	進路変更(就職)		1	7	2	1	1	2		3	4
D	経済的困窮			1		1	3	1	1	1	
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱	2		1				1			
H	海外留学					1					
I	その他								1		1
計		7	3	14	3	6	4	7	4	7	6

福祉専攻

退学事由		R3		R4		R5		R6		R7	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	修学意欲の低下							1		2	
B	進路変更(進学・転学・編入)										
C	進路変更(就職)										
D	経済的困窮						1				
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱			1				1	1		
H	海外留学										
I	その他										
計		0	0	0	1	0	1	2	1	2	0

食栄専攻

退学事由		R3		R4		R5		R6		R7	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	修学意欲の低下	2	1	4				3			
B	進路変更(進学・転学・編入)	1		1				1			
C	進路変更(就職)										
D	経済的困窮		1					1			
E	学力不足										
F	身体疾患			1		1					
G	心身耗弱										
H	海外留学										
I	その他										
計		3	2	5	1	1	0	5	0	0	0

教養学科

退学事由		R3		R4		R5		R6		R7	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	修学意欲の低下		1	2		2	2	1	1		
B	進路変更(進学・転学・編入)	1							1		
C	進路変更(就職)		1	1				1	2	1	
D	経済的困窮			1	1	1					
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱			1	1					1	
H	海外留学										
I	その他								1		
計		1	2	5	2	3	2	2	5	2	0